

第14回 桑名市新型インフルエンザ等対策本部会議を開催しました  
(第34回 桑名市新型コロナウイルス感染症対策本部会議)

会議概要

1. 現状の報告及び今後の対応方針について

現状の報告

(事務局)

- ・ 県内の患者発生状況について、1月に入り新規感染者が急増し、1月14日に県が「緊急警戒宣言」を発出した。1月中旬以降、新規感染者数については減少傾向だが、クラスターが頻繁に発生している状況である。
- ・ クラスターは、飲食の場面での感染事例は減少する一方、医療機関、事業所、カラオケなど、1月だけで15事例発生している。
- ・ 感染者の年代は、30歳代以下の割合が減少傾向となる一方、60歳代以上の割合が増加している。
- ・ 桑名市内では、1月までは増加傾向であったが、2月に入り昨日(2月4日)まで4人と減ってきている状況である。
- ・ 現在の感染状況などを踏まえ、三重県では、本日(2月5日)、県独自の「緊急警戒宣言」について3月7日まで延長が決定された。
- ・ 延長された「緊急警戒宣言」では、警戒宣言発出後の感染状況として新たなクラスター発生の傾向などを踏まえ、＜新たな要請＞として
  - ・ 仕事の間の休憩や食事など居場所が切り替わる場面における感染防止対策の徹底
  - ・ 県境を越える移動に加え、県内の移動についても必要性の検討と慎重な行動
  - ・ 医療機関、社会福祉施設に対する感染防止対策の徹底
  - ・ 業務を行う場所での感染防止対策と食堂や休憩所などでの感染防止対策の徹底について、感染状況が早期に改善した場合は期限を待たずに宣言の解除もあるとしながら3月7日まで協力をお願いしている。
- ・ このほか、緊急対策として、「医療提供体制」「緊急支援パッケージ」「外国人住民への対応」が追加され、また、2月7日までとされていた「三重県指針」ver.8についても3月7日まで延長することとされている。
- ・ 桑名市、四日市市、鈴鹿市にある酒類を提供する飲食店等に対して要請されていた夜間営業時間の短縮については延長しないこととされた。

(本部長)

- ・ 営業時間短縮要請の解除に伴い協力金がなくなる。事業者のリアクションは届いているか。

(産業振興部)

- ・ 本日(2月5日)の県の対策会議での決定であり、反応についてはまだ届いていないが、すぐに客足が戻ることも難しいと思われ、新たな対策について検討してほしいという声があがるのではないだろうかと考えている。

## 2. その他

### (保健福祉部)

- ・ コロナワクチン接種に向けた取り組みとして、1月7日、保健福祉部内に「コロナワクチン接種課」を新たに設置した。現在、国、県、医師会等と連携を強化し、ワクチンの接種に向けた調整に取り組んでいる。また、3月1日を目標にコールセンターの設置についても調整中である。
- ・ ワクチン接種スケジュールについて、変更の可能性はあるとしつつ
  - 3月中旬・・・医療従事者向けの優先接種が開始
  - 3月中旬以降・・・高齢者に接種券を送付
  - 4月以降・・・高齢者向け接種が開始
  - 上記以降・・・その他の者に接種券を送付基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者の接種を開始  
その後、ワクチンの供給量を踏まえて、その他の者の順次接種を開始  
と想定しており、ワクチン接種は2回、費用は無料としている。

### (事務局)

- ・ 次回対策本部会議 未定